

第7回須坂新校再編実施計画懇話会

日時：令和4年11月15日（火）

18時～19時30分

会場：須坂市生涯学習センター 3階 ホール

<次第>

1 開 会

2 挨拶

3 会議事項

（1）「第6回須坂新校再編実施計画懇話会」まとめ

（2）学びのイメージ（素案）の説明

（3）学びのイメージ（素案）に関する討議

4 その他

<次回の予定>

（1）第8回須坂新校再編実施計画懇話会

（日時） 令和4年12月中を予定

（会場） 須坂市生涯学習センターを予定

（内容） 新校の学びのイメージ（修正案）について

5 閉 会

第6回 須坂新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和4年10月20日(木) 18時00分～19時30分		
場所	須坂市シルキーホール 第1ホール		
出席 (敬称略)	三木 正夫, 新井 隆司, 藤沢 敏和, 小林 雅彦, 春原 博, 神戸 佳代, 久保 正直, 浅井 洋子, 半田 志郎, 鈴木 勝, 島田 千春, 坪井 扶司夫, 新井 孝之, 中坪 成海, 二ノ宮 邦彦, 大宮 透, 畔上 大空雅, 丹下 駿, 望月 梨々音, 宮尾 悟良, 山岸 暢, 羽山 功, 小林 英司 (以上23名)		
欠席 (敬称略)	霜田 剛, 坪井 育美, 内田 陽菜	傍聴者	6名
事務局	須坂東高校	宮下 教頭(副事務局長), 嶋田 教諭, 酒井 教諭, 山岸 教諭, 高坂 教諭	
	須坂創成高校	峯村 教頭(事務局長), 小林 教諭, 柳澤 教諭, 山口 教諭, 辻 教諭	
	県教育委員会	山岸 主幹指導主事, 高野 課長補佐, 有坂 主任指導主事	
当日資料	次第, 第5回須坂新校再編実施計画懇話会まとめ(案), ここまでに出された意見		

会議事項

- (1) 第5回須坂新校再編実施計画懇話会のまとめ(案)について
- (2) アンケートの実施について
- (3) 学びのイメージに関する討議

構成員から出された主な意見(要旨)

- (2) アンケートの実施について
 - ・小学生の保護者だけでなく事業者、自営業者、経営者、受験を控えている保護者、両校の生徒、小中学生、両校の卒業生も対象にしてほしい。
 - ・須高地域だけでなく両校は長野市内から多く通っていることを踏まえ、長野市内も対象にしてほしい。

○実施は了承。実施内容については座長と事務局に一任し、検討の上実施する。
- (3) 学びのイメージに関する討議 *下線は討議中に繰り返し出された単語
 - ・学年を超えたコミュニケーションをとり学年間の連携を進めながら学習活動を進める。
 - ・デュアルシステムやビジネス実践を大切に、社会とのつながりを徹底して持つ。
 - ・専門的な学び(農業・工業・商業)を多くの生徒が共有し、様々な科目が選択できる学校。
 - ・地域の課題は地域の資源であり、課題解決型の学びができる学校。
 - ・時代の変化に対応できるように主体的、自主的で目標・目的をしっかり持っている生徒を育てたい。
 - ・他学科理解が他者理解につながり、コミュニケーション力のある生徒を育てることができる。
 - ・生徒のキャリアデザインをサポートできる学校。
 - ・自分の力で課題を発見し自分で解決できる生徒、地域と連携し地域とコミュニケーションをとりながら課題を解決する生徒を育てたい。
 - ・生涯学習の拠点となるような学校、地域に開かれて地域の方も一緒に学ぶことができる学校。
 - ・高校時代に様々な人と交流することは大事。新校は多くの学科があり多くの学校との交流ができる。
 - ・教えることが本人にとって一番の学び。学年を超えた学び、異年齢での学びでこれができる。
 - ・学校の文化、学校で学んだことを外に発表できる場を多く作ってほしい。

その他

【次回】

日時：令和4年11月の実施を予定
 会場：須坂市生涯学習センター を予定
 内容：新校の学びのイメージについて

須坂新校学びのイメージ（事務局会素案）

《実社会の課題と向き合い、地域を学びの場に成長し続ける高校》

総合技術高校
 学科・教科の枠を超え
 横断的に学ぶ専門学科



新たな普通科
 実践的な探究活動に取り組み
 自分の生き方を創造する学科

目指す学校像

- ・ 実社会において各学科の学びを活かし、予測困難な社会を生き抜くため、探究的な学びをとおして、課題発見解決能力を育む。
- ・ 学科や学年を超えた協働的な学びをとおして、自分の価値や役割を理解し、自らの生き方を考え実現する力（キャリアデザイン力）を育む。
- ・ 生涯学習の拠点として、地域に開かれた学びを推進し、主体的に未来を創造し続けるための力を育む。

主体的に未来を創造していくための須坂新校探究的プログラム

学びのキーワード「教科・学科・学年を超えた学び」「地域連携」「キャリアデザイン」

普通科

学内にとどまらない実践的で探究的な学びから、自身と地域の未来を創造できる力を養成する。

- ・ 学科・教科横断型の授業
- ・ 学科の枠を超えた探究的な学び
- ・ 学年を超えた協働学習

農業科

農業関連産業の実践的な学びをとおして農業の6次産業化と緑豊かな環境を創造するための力を養成する。

工業科

企業と協働した学び（デュアルシステム）等をとおして創造的な力と実践的な技能・技術を養成する。

- ・ 専門性を活かした学科間連携の充実
- ・ 学校内外での探究活動
- ・ コース制による専門性の深化

商業科

ビジネス教育をとおして知識・技術を習得し、経済社会に必要な人間力と実践力を養成する。

地域との協働による未来の創造

- 地域の人々と共に学び、地域の未来を共に創る**
- 地域での学びを推進する仕組みづくり
 - ・ 企業、自治体、大学、研究機関、関連団体等で構成する連携会議
 - ・ 共同研究、共同開発や現場実習などをとおして実践的・探究的な学びを推進
 - 学校と地域をつなぐ「地域連携コーディネーター」の設置
 - 地域との協働による生涯学習の拠点

須坂新校 再編実施計画に係る学校像について（これまでに出了された意見）

	第6回懇話会で出された意見	協議会からの意見・提案	再編・整備計画【二次】	第5回懇話会までに出了された意見	両校からの意見
育てる生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・自主的で目標・目的をしっかり持っている生徒 ○ コミュニケーション力のある生徒 ○ 自分の力で課題を発見し、自分で解決できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高い志を持ち、自ら自分の進路を切り拓いていく生徒 ○ 地域の良さを知って、地域の活性化に貢献できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域課題と向き合い、納得解を導き出す力や論理的に分析・思考する力、新しい価値を発想・創造する力を持つ生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団適応、コミュニケーション能力が高い生徒。 ○ 自分で考えて自分で動ける生徒（主体性、自律性、自主性） ○ 自分の未来を自ら形成する人間力を持つ生徒 ○ 自ら意思決定して行動できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に学習に取り組み、実社会の課題と向き合い、未来を創造する力をもつ生徒 ○ 予測困難な社会を生き抜くため、課題発見解決能力をもつ生徒 ○ 他者との協働・コミュニケーションを図り、未来を切り拓いていく力を持つ生徒 ○ 自らのキャリアをデザインできる生徒
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒のキャリアデザインをサポートできる学校。 ○ 時代の変化に対応でき、新しいことを取り入れることができる学校。 ○ 生徒が自ら目的・目標を持ち、生徒自らが育つ学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな人が集まり様々な議論を展開し、創造的な新しい発想や価値を生み出す学校 ○ きめ細やかな進路、学びのコースがある「総合技術高校プラス普通科」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しいタイプのコミュニティデザイン高校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流授業や学校生活の中で異なった考え方の人々と交流し、新たな価値を生み出せる学校 ○ 多様な分野を知り、つなぎ、新たな価値を生み出せる、人やアイデアをつなぎ、新たな価値を生み出せる学校 ○ 主体的な経験ができる場面を数多く用意した学校（部活動・生徒会活動以外にも） ○ いろいろな人とつながる、いろいろなことを学ぶ、研究するのは楽しい、ということをも味わえる高校。高校は生涯学習の出発点。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門学科と普通科の連携や他者との協働から新たな価値を生み出し、未来を創造していく力を育む ○ 地域をフィールドとした探究的な学びを実践し、課題発見解決能力を育む ○ 学科・教科の横断や地域連携を取り入れた新しい学びをとおして、キャリアをデザインする力を育む
学びカリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年を超えたコミュニケーションをとり、学年間の連携を進めながら学習活動を進める。異年齢での学び。 ○ 専門的な学びを多くの生徒が共有し、様々な科目が選択できる。 ○ 地域の課題は地域の資源であり、課題解決型の学びを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までの普通科の学習領域にとらわれない特色ある魅力的なカリキュラム ○ 実践的な就業体験をものづくり産業以外に拡大・充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合技術高校と新たな普通科（地域課題に着目した実践的な探究活動に取り組む学科）の特徴を活かし、ここの生徒の可能性と能力を引き出す新たな学びのシステムの構築 ○ 大学や地域との連携・協働や先端技術の活用により、地域を創造し続けるための新たな学びの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週の1日は探究に使えるなど、まとまった時間の中で自分の興味を深掘できる時間を持つ。興味あることを思いきりできる、という環境は強み。 ○ 普通科の生徒が選択科目として他の専門学科の単位が取れるようにする。普通科でのデュアルシステム。 ○ IT、情報システム、プログラミングを学べる学科があるとよい。 ○ 地域課題を解決できる探究的な学びができる学科間連携。 ○ 専門科、普通科の枠を超え、選択が広がるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学科・教科の枠を超えた探究的な学び ○ 地域をフィールドとした探究活動 ○ ICTの活用とコース制による専門性の深化 ○ 学科間連携の充実
地域連携シーム	<ul style="list-style-type: none"> ○ デュアルシステムやビジネスの実践を大切にし、社会とのつながりを徹底して持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元企業と深く結びつき、実学の部分を企業が担い、地元で育てたい生徒を地元が育てる ○ 地域（市町村）とパートナーシップ協定や連携協定を結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元の企業や自治体との協働によるデュアルシステムを地域の人々が生涯にわたって学び、成長し続けるためのプラットフォームに発展させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元の企業や自治体との連携が鍵。デュアルシステムなど、現在の須坂創成高校の取組を継承・発展していく ○ 商品開発やスマート農業など、地域の人と一緒に学ぶ。 ○ 地域の専門的知識を持った人が教えることもあってよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域をフィールドとした学びを推進するコンソーシアムの構築 ○ 地域連携コーディネーターの設置 ○ デュアルシステム、共同研究、共同開発等の実施
学びの環境・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の拠点となるような学校 ○ 地域に開かれて、地域の方も一緒に学ぶことができる学校 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校内にとどまらず色々なバックグラウンドを持つ人々と連携、交流することは非常に有意義。 ○ 多様な分野を知り、つなぎ、新たな価値を生み出せる、人やアイデアをつなぎ、新たな価値を生み出せる人材が育つ場所になるとよい。 ○ 専門性を活かして取り組める文化活動部（プログラミングや機械工学、起業、農業など）が充実することも、学校の魅力になる。 ○ 地域にこだわるよりも社会とのつながりを持つことが大切。学校外に活動を求める必要性を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との協働による生涯学習の拠点